

あの山火事を忘れない ～大規模山火事から1年～

たき火と火事は紙一重

☎ 消防局予防課 ☎ 086-234-1199 ☎ 農林水産課 ☎ 086-803-1345

昨年3月23日に発生した南区飽浦地内での大規模な山火事から約1年。486ヘクタール（東京ドーム100個分）もの森林が消失したこの火事は、記録が残る中では県下過去最大の山火事となりました。

今月は、改めて火災予防の啓発と山火事後の取り組みについてご紹介します。



市消防局公式
マスコットキャラクター「桃之助」

○ 出火原因は「たき火」！

南区飽浦で発生した林野火災の出火原因は「たき火」で、木の剪定くずを焼却していた火が燃え広がったものでした。また過去10年間の林野火災の出火原因の約65%が「たき火」です。「たき火」は最初は小さい火でも、少しの不注意で大きな火災につながる可能性がある危険な行為です。

なお、「たき火」や「野焼き」（廃棄物の焼却）は原則禁止されています。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」などで、例外として認められている焼却行為で、やむを得ずたき火をする際はもちろん、屋外で火を取り扱う際には以下の点に注意しましょう。



燃えやすいものの近くで
たき火などをしない！



その場を離れない！



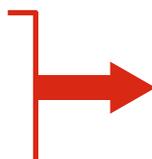
消えたかどうか
絶対確認！

○ こんなときは届け出や許可申請が必要です

✓ 落ち葉や枯れ木などを
集めて「たき火」をするとき

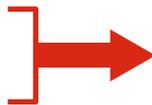
✓ 野焼きをするとき
（※例外として認められている場合のみ）

✓ 森林やその周囲1km以内で、
害虫駆除などの目的で「火入れ」を
するとき



火災とまぎらわしい
煙などが発生する場合は
消防署へ届け出が必要です。
実施前日までに、管轄の消防署所
まで届け出をしてください。

申請書類は
こちらから



事前に実施場所を所管する**区役所**
・**支所へ許可の申請が必要**です。
詳細はHPをご確認ください。

「火入れ」
について



※森林やその周囲1km以内では原則火入れはできません。

STOP山火事プロジェクト実施中！



市消防局では、災害の記憶の風化を防ぎ、市民の防火意識の向上につなげるために、「STOP山火事プロジェクト」として、さまざまな取り組みを実施していきます。

プロジェクトのスタート時には、岡山市南区育ちで、プロ野球選手横浜DeNAベイスターズの佐野恵太選手が、大規模山林火災の現場を消防ヘリで上空から視察し、その後、市長を表敬訪問しました。



▲横浜DeNAベイスターズ 佐野選手

「風の強い日などは火の取り扱いには注意してほしい」と市民の皆さんに力強く呼びかけていただきました。



STOP山火事

山火事予防を呼びかける動画を公開！

有森裕子さんをはじめ、トライフープ岡山、岡山シーガルズの選手など岡山市にゆかりのあるスポーツ選手などの著名人に協力いただき、山火事予防を呼びかける動画メッセージを制作しています。

これらの動画は、市消防局の公式Instagramなどで3月下旬から順次発信していきます。

著名人の声を通じて、山火事の危険性を知っていただき、一人一人の小さな心がけが、大きな災害を防ぐ力になることを目指します。

市消防局
公式Instagram ▶
はこちらから



◀岡山シーガルズ 選手の皆さん

山火事からの復旧を進めています

復旧計画に係る問い合わせ先 備前県民局 森林整備課 ☎086-233-9834

山火事で山林が失われると、大雨が降った際に土砂崩れなどが起きる危険性が高くなります。市では応急的に昨年5月～6月にかけて、飽浦地区内で土砂の流出を防ぐ仮設工事を実施しました。また県が主体となり、まずは住宅が近くにある飽浦地区から森林の復旧計画を策定し、山火事後の山を整え、土砂災害を防いでいく治山事業を進めています。

飽浦地区では、森林の復旧が必要な45haで、植栽やヘリコプターを使用した種まきを行います。また土砂の流出対策として治山ダムを設置するほか、落石対策も実施します。



治山ダム完成イメージ写真



ヘリコプターを使用した種子の散布イメージ

子どもたちが苗木を育てています

山林火災で焼失した部分に植える苗木70本、どんぐりとポットのセット140組を地元5つの学校・園で育てています。

子どもたちが育てた苗木は今年の3月から順次山に植えられていきます。山が元通りになるには長い時間がかかりますが、子どもたちが育てた苗木もその復興の一助となります。



火災は一瞬、後悔は一生です。引き続き山火事防止にご協力をお願いします！